

5. かわってきた人びとの暮らし

(1) 学校のうつりかわり

古くからの学校



明治のはじめごろつくられた金透小学校



りっぱなたてものだね。
いつごろたてられたのかしら。



金透小学校ができたころ
の郡山は、どんな町だった
のかなあ。



明治のはじめごろの郡山のようす



おばあさんのお話

明治のはじめごろの郡山は、人口がおよそ4,000人しかいない小さな町だったんだよ。

そのころ、家があつまっているところといえば、今の本町、中央、大町の商店がいのあたりぐらいだったんだ。

金透小学校が、いまのところにつくられたのも、たくさんの子どもが、学校に行きやすいようにと考えたからなんだよ。